



新メンバーが加わりました！

鈴木康平隊員 自己紹介

15年ぶりに
剣淵へ
戻ってきました！



この度、地域おこし協力隊として活動させていただけることとなりました鈴木康平です。

進学のために剣淵町を離れてから、函館で4年、東京で11年過ごしてきました。東京では、約7年間、アニメ制作の現場で仕事をしてきました。ここで培ってきた経験を活用して、剣淵町をPRできるコマーシャル映像をつくりたいと思っています。

◆出身 : 剣淵町旭町（旧3区）

◆趣味 : 映画鑑賞（年間100本を目標）、サイクリング（1日に180km走ったことがあります）、登山（昨年、ようやく富士山に登りました）

◆地域おこし協力隊への応募キッカケ：

両親が還暦を迎えた頃より、少しでも楽をさせてあげたいという想いが強くなり、剣淵町へのUターンを考えるようになりました。単に地元へ戻るのではなく、私が社会で学んできたことを糧に、町の活性化や元気づくりに力を揮ってみたいと応募いたしました。

私ができることは小さなことですが、皆様と力を合わせ、今以上に元気な町となる活動を行っていきたいと思っております。

☆まちづくりカフェを月に1度開いています☆



まちづくりカフェは様々なテーマで「まち」のことを考える場です。「まちづくり」に興味がなくともあっても、異業種・異世代間でのおしゃべりを楽しみましょう。

日時：随時発表

場所：商工会「まちの駅」

時間：午後6時～

まちづくりカフェは、剣淵町の地域おこし協力隊が開催している、「交流の場」です。

地域おこし協力隊が剣淵町で活動していく中で、町の皆さんとお会いしてコミュニケーションを取れる場がもっと欲しいと思い、月に一度開催しています。

「まちづくり」というと固くて難しいイメージがありますが、私たちはカフェでまったり話をするような雰囲気です。皆さんとまちについて語り合える場を作りたいと思っています☆

現在、剣淵町を元気に盛り上げるために今夏「夏の屋台村」を作ろう！という話が進んでいます。

1度覗いてみるだけでもOKです！是非お気軽にご参加ください☆

第5回まちづくりカフェ エ報告

第5回まちづくりカフェを3月15日に開催しました。

今回は初めて来て下さった方も3名いらっしゃり、8名でさつくばらんに話をしました。

第一部の「おしゃべりする時間」は、今回がカマクラづくりを実施して以来初めてのまちづくりカフェ開催日だったこともあり、カマクラづくりの感想や来年への構想などを話しました。

「みんなのアイディアが集結した時間だった」「ひとりひとりが何かの得意分野を持っていて、それぞれがその力を発揮し合い楽しんでいたのが良かった」という感想が出て、カマクラづくりが地域のイベントとして成功したことを感じました。

また、来年度に向けての意見も出て、「数を増やしてカマクラ村をつくらう」「よりたくさんの人に楽しんでもらえるように、キャンプライトウォーキングとコラボレーションしよう」といった声が出ました。

第二部の「カタチにする時間」は、夏の屋台村プロジェクトについて話を進めました。2月末に開催した地域おこし協力隊報告会で屋台村についてのアンケートを実施していたので、その結果を元にして屋台村をつくる「目的」と「お金」について話し合いました。

目的は、「子どもとお年寄りが関われる場をつくる」「まちの人が外に出て楽しむ場をつくる」といった意見が出ました。お金については、任意団体を作って補助金で運営することも考えましたが、今回は補助金は使わず、自分たちのイベント内で経費の精算を完結できる仕組みを作っていくと、と全員の意見が一致しました。その仕組みの例ですが、「オトナが飲んで楽しんだビール代」で「コドモが縁日などの遊びを楽しむ」というサイクルをつくるようなお金の回し方を考えています。オトナもコドモも笑顔になれば、素晴らしいですよ！

次回のまちづくりカフェでは、実施日時を決定するなどの話を進めていこうと思います！

協力隊が感じたこと・気づき

協力隊として最後の「まちづくりカフェ」でした。はじめて進行役も務めさせていただいて、話をまとめる作業は書くより大変でした。今回は女性参加者が多く、同年代が多かったためか、和やかな雰囲気で開催することができました。カマクラづくりの感想・反省では、写真を見せ合ったり来年度の計画案もできました。夏の屋台プロジェクトでは、ビールパーティの開催日を確認しておくこと。子どもがいる家庭では、他のイベントで忙しい日程があること。など地域の人に聞かないとわからない情報もあって楽しかったです。徐々に屋台村のイメージができてきた感じです。4月以降は新しい協力隊と今井で「まちづくりカフェ」を続けていきます。今後の内容に注目して参加できる日は参加していこうと思います。(田中紘子)

今回は初めて来てくださる方が3名いたことが嬉しかったです。細々とした活動ですが、継続することで少しずつ受け入れてもらえる実感しました。初めて参加する方はなんとなく行き辛

い気持ちがあるかと思いますが、皆で談笑しながらお茶を飲む感覚で実施していますのでいつでもお気軽に参加ください☆
夏の屋台村では、子どもが楽しむ昼の時間帯で実施する日と、大人が楽しむ夜の時間帯で実施する日を作ろうと考えています。「子どもが楽しむ日」は、お年寄りとも子どもが交流できる場を創りたいと思っています。お年寄りの皆様に縁日や駄菓子売りなどをお手伝いして頂き、子どもが楽しむ時間を創るイメージです。実施は今年の8月で考えています。これはお金儲けはしない、剣淵町を楽しくすることが目的のイベントです。力を合わせて楽しい夏のひとときを創りましょう☆(今井星衣礼)

2016年3月をもって、
田中紘子さんは協力隊
を卒業されました！

